

平成30年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

<b>施設名</b>	みのお市民活動センター
<b>指定管理者</b>	特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお
<b>指定期間</b>	平成27年4月1日～平成32年3月31日
<b>施設概要</b>	非営利公益市民活動の促進を目的とする。 会議用施設（会議室等）や活動用施設（事務ブース、ロッカー等）の貸し出しや、市民活動促進のための各種事業を実施する。
<b>市支出額</b>	指定管理委託料…26,998,000円（うち2,500,000円は支援金原資） キューズモール施設借上料…28,259,280円 キューズモール施設共益費…5,651,856円

2. 事業の実施状況

<b>情報収集及び提供に関すること</b>	ホームページの管理・運営等情報の収集・発信（随時）、ニュースレターの発行（年2回）、グループガイドの発行（隔年）
<b>講座の開催、その他啓発に関すること</b>	NPOフェスタ（年1回）、スキルアップ講座（年6回）、施設を活用した啓発・交流促進（随時）
<b>相談に関すること</b>	各種専門家相談（年2回）、一般相談（随時）
<b>交流の促進に関すること</b>	利用者協議会の開催（年1回）、子育て支援ネットワーク、大学連携交流促進事業（年1回）
<b>調査・研究事業</b>	ポータルサイト研究会
<b>支援に関すること</b>	市民活動支援金募集・審査・交付、報告会の実施（各年1回）、交付後のサポート（専門家コンサルティングの提供）等
<b>場所及び施設の提供に関すること及びセンター施設の利用に関すること</b>	開館時間：午前9時～午後10時 休館日：12月29日～1月3日
<b>その他施設を活用した市民サービス等</b>	①証明書発行業務（火曜～日曜日、午前10時～午後5時受付。印鑑登録証明、住民票の写し、住民票記載事項証明、課税証明。年間655件発行） ②期日前投票所会場提供（11日間） ③箕面市後援プロ野球ファーム戦チケット販売
<b>情報収集・提供（自主事業）</b>	メールニュースの配信（2種・月2回程度）、ホームページの管理・運営（随時）、ボランティア情報サイトの管理・運営（月1回更新）
<b>団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援（自主事業）</b>	活動・情報の交流会等の支援（まんどろ火祭り等）
<b>市民活動に関する人材育成（自主事業）</b>	①出会いの広場事業（活動紹介窓口の設置）、②ボランティア・実習生受入、③高校啓発事業（週1回程度）、④DIY講座（1回）、等
<b>市民活動を促進するための社会的な環境の整備（自主事業）</b>	団体との連携（実行委員会等参画）、ネットワーク構築（「もっとネット会議」等）
<b>その他の自主事業</b>	①来館啓発及び表現活動の場の提供（ほっとコンサート：年3回、箕面在住アーティスト展：年1回）、②中間支援組織の研修、③震災復興支援活動、④防災イベント（年1回）

### 3. 利用者の満足度

#### (1) 利用者アンケートの状況

<b>アンケートの結果概要</b>	383人（男性124人、女性259人）から回答をいただいた。70歳以上が125人（約32.6%）と最も多く、20代以下は17人（約4.4%）と少ない。総合的な印象では「期待以上」が89人（約23.2%）、「期待どおり」が267人（約69.7%）と概ね良好な評価をいただいている。
-------------------	---

#### (2) 利用者等の意見交換会の状況

<b>意見交換会の結果概要</b>	大阪府北部地震で被害を受けた防災吸垂壁（ガラス）など防災対応について質問・意見を受けた。他、カラーコピー機の設置や近隣に郵便ポストの誘致などの要望が出された。 また、稼働率が上がりすぎて利用しづらい状況に対し、施設の拡張や時間区分の見直しなどの提案がなされた。指定管理者スタッフの細かな対応やサポートについて評価の声をいただいた。また市民サービスを積極的に評価し条件整備を勧める意見もあった。
-------------------	---

#### (3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

<b>取り組みの実施状況</b>	定例的な意見聴取の場の他に、窓口等でも随時利用者の声を聞き、定期的開催している事務局内会議でスタッフ間共有を行い、対策を検討している。
------------------	---

### 4. 収支状況

指定管理者である法人全体としては経常収益30,137,669円（前年度比約99.5%）に対し経常費用29,091,204円（前年度比約101.6%）となった。単年度の収支差額は経常収益の約3.0%にあたる916,365円であり、次期繰越金は同じく約6.1%にあたる1,830,058円となっている。
---

### 5. 特別提案の状況

(なし)

### 6. 指定管理者の自己評価

施設管理の面では多様な属性の方々が自然に共存して利用していただけるようこころがけ、会議用施設の稼働率は64.3%と最高値を更新することができた。アンケートおよび意見交換会での意見でも評価の声をいただき、みのおキューズモールのテナントとして受けた調査でも、待遇等に関し良好な評価を受けることができた。

みのお市民活動センターは2003年の移設オープンからまもなく15年を迎えることから、空調機など設備の老朽化やそれに伴う不調が発生して利用される方々にご迷惑をおかけすることがあり、設備の更新は課題となっている。

備品についても要望があるので、引き続き導入可能性を検討していきたい。

ソフト事業では、「夢の実支援金」の交付団体を中心に伴走方の相談・支援を行い、交付団体の中には事業の自立実施を果たすなど目に見える成果をあげるところも出てきている。

また非営利公益市民活動へ関心を持つ市民の層を広げるため、写真などビジュアル面を強化し、人の顔が見える誌面づくりを意識してニュースレターを全面リニューアルした。

隔年で発行してきた『みのお市民活動・ボランティア ハンドブック』は、活動グループの紹介という冊子の中身をよりイメージできるよう、『みのお市民活動グループガイド』と名称を改め、ページレイアウトを見直してコンパクト化をはかった。また冊子掲載情報に詳細情報を加えてWeb上に公開し、情報発信の強化ができた。Web上の発信については、NPO法人として運営しているフェイスブックやボランティア情報サイト「v-info」やNPO広報プロジェクト「promo」等での発信を充実させ、またホームページもリニューアルの方向性を検討している。

啓発事業として実施しているNPOフェスタは、ガーランド作成のワークショップを自主事業として連携させて実施し、イベントに向けての機運を盛り上げることができた。

また自主事業としての位置づけで行なったが、学生ボランティアグループと企業の社会貢献部門と協働で事業（防災教室）を実施するなど、異なるセクター間でのネットワークづくり、協働の促進にも貢献することができた。